

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭63-131944

⑬ Int.Cl.⁴B 65 D 35/22
35/38

識別記号

庁内整理番号

D-8208-3E
B-8208-3E

⑭ 公開 昭和63年(1988)8月29日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 合成樹脂製チューブ容器

⑯ 実 願 昭62-23696

⑰ 出 願 昭62(1987)2月20日

⑱ 考 案 者 飯 塚 茂 雄 東京都江東区大島3の2の6 株式会社吉野工業所内

⑲ 考 案 者 斉 藤 忠 雄 東京都江東区大島3の2の6 株式会社吉野工業所内

⑳ 出 願 人 株式会社吉野工業所 東京都江東区大島3丁目2番6号

㉑ 代 理 人 弁理士 今 岡 良 夫

㉒ 実用新案登録請求の範囲

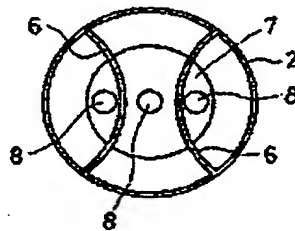
合成樹脂製のチューブ容器本体1内に一対の仕切板を縦設して該チューブ容器本体を上端開口の三室に区分すると共に、それぞれ仕切板を、チューブ容器本体の口頭部に嵌合させた注出筒17内方まで延長形成させたことを特徴とする合成樹脂製チューブ容器。

図面の簡単な説明

第1図は本案容器の縦断面図、第2図は、第1図II-II線を矢示方向へ見た横断面図、第3図は分解斜視図である。

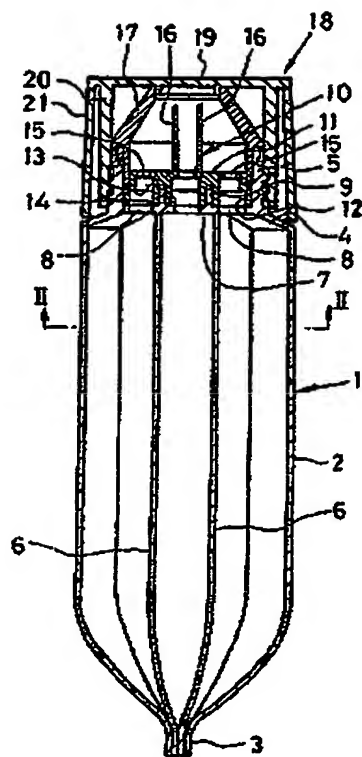
1……チューブ容器本体、10……中栓、17……注出筒。

第2図



実開 昭63-131944(2)

第1図



第3図

